

令和2年 1月15日(水) No.444

からだを鍛え 心を磨く いつも仲間とともに 夢のある学校



里中だより

川口市立里中学校

川口市里621番地

TEL 048-282-5708

さわやか相談室 284-1010

1年213名 2年176名 3年179名

<http://www.sato-chu.com/>

一人でがんばらずに

校長 高田 晶子

令和2年新たな年が始まりました。保護者・地域の皆様方にはご健勝で新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は里中学校のためにご支援賜りましたことに厚く御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



さて、「御節」(おせち)料理は正月に食べる特別な料理として一度は口にしたことのある料理です。品数は20~30種類あると言われ、それぞれに意味やいわれがあるとされています。江戸時代から様々に変遷し、高度成長期以降、百貨店がお重詰めに扱うようになり、平成の間に「作るもの」から「買うもの」へ流れが強まりました。ここ数年は「やっぱり何品かは作りたい」という、作ってみたい気持ちが消えていない家庭が増えているそうです。

年末に「おせち 一人でがんばらずに」という新聞記事が目にとまりました。

「シェアおせち」3品ずつ持ち寄り交換するというもの。「全部は無理だけど2,3品なら何とかなる。孤独な血のにじむような努力をしなくてもおせちができた。」という内容でした。「ルームシェア」「情報をシェアする」などという言葉は今までも聞いたことがありましたが、「シェア」という言葉は、こういう時にも活躍するんだなという新鮮な感じがしました。「20種類も一人で全部作るは無理だけど、おせちができてうれしい。」「作ったことがなかったけど、持ち寄るということで作ることも経験でき、子どもたちにもおせちの意味を少し伝えられたから良かった。」という感想が多かったそうです。

私たちの生活は、かつて親から子へと受け継がれていました。しかし、今は家族の人数は減り、共働きの家も増え、人手や時間を補いながら生活していく仕組みが増えつつあります。人の営みには、互いに手を貸し合うことや仲間との関わりが大きいことは間違いないと思います。

学校の学習にしても、仲間との話し合いが学力の向上には有効と考えられ、話し合い活動を取り入れている授業が増えてきています。作業も一人で行うより仲間で行う方が早いし、効率も良いと言われています。様々なところで「シェア」しながら、人との関わりを大切にしながら生活しているのです。一人でがんばらずに、みんなでやっていく。いつの時代も人に支えられ、助けられ、頼りながら共同生活しているのだということを改めて感じる年明けでした。

干支のネズミにちなみ、「マメな一年を」過ごしていきたいと思います。

今年も素晴らしい一年になりますようご支援ご協力よろしくお願いいたします。

ご報告です！

2年3組 担任 石川ゆきの先生がご結婚されました。1月より駒谷と改姓して勤務いたしますので引き続きよろしくお願いいたします。